

ふれあうナカマ 育む 見守る



ふれあうナカマ 育む 見守る



太鼓引き継ぎ式で最後の「KIZUNA」を演奏する6代目。素晴らしい演奏を披露し、中学校へと旅立ちました

大森太鼓は、被災した地域の方々に「今、自分たちに何ができるか」を考えて創られました。5、6年が主体となり練習を重ねています。名前は、枝野地区と震災で被災した山元町との境にある大森山に由来しています。最初に作られたのは「KIZUNA」という曲です。被災した方々に寄り添い、心と心を結び、お互いに助け合おうという気持ちが込められています。震災当時、海外からの支援など国際的な交流を目的にした初代の先輩たちが、感謝の気持ちからローマ字表記にしました。

先日、大森太鼓引き継

## 心結ぶ太鼓

枝野小学校では、東日「大森太鼓」に取り組んでいます。

## 被災者に寄り添って演奏

### 枝野小

学校名 角田市立枝野小学校  
所在地 角田市島田三〇七  
電話 0224(63)1148  
校長 佐藤 瑞恵  
児童 86人



### 金次郎像を移設

枝野小は1985年、鉄筋コンクリートに改築されました。しかし、当時の校舎の正門脇にあった二宮金次郎の像だけは移設されず、外遊具が設置してある木立の中にひっそりと立っていました。2月25日、地域の多くの有志の方々のご協力で、本校舎前に移設されました。今は、私たちが校庭で遊ぶ様子を校舎前から見守っています。



次回は  
鹿野小(仙台市)  
富永小(大崎市)

### 若林小

学校名 仙台市立若林小学校  
所在地 仙台市若林区若林4の3の1  
電話 022(286)2735  
校長 小沢 守一  
児童 312人



### サケの稚魚放流

若林小学校は、児童約300人の学校で広瀬川のすぐ近くにあります。その環境を生かした学習があります。

例えば、4年生の総合の学習では、サケを卵から飼育し、校長室の前にある水槽で稚魚になるまで育て、広瀬川へと放流しています。

そのほか河川敷で陸上運動をすることもあります。



これまで伊達政宗のこたや仙台駄菓子子について学習してきて、この学習を始める前から大きく変わったことが二つあります。一つ目は、数百年前から続く歴史について知ったこと

たことです。近代に造られた始めた機械や地名などは、ぼくにとっては生まれた時からあった物だけ、それらが無く、今に比べてずいぶん不便な時代に生きた人物や文化について知ったこと、今の「当たり前」がどんなに便利かを知りました。



仙台自主研修で訪れた仙台城跡の騎馬像前で、友人と記念撮影

## 仙台の歴史

## 昔から続く文化を大切に

二つ目は、「駄菓子」に深い歴史があることや駄菓子子の種類がたくさんあるということを知ったことです。多くの人たちが文化などによって積み上げられた歴史の塔を崩さないよう、少しでも力になればいいと思います。

今後この昔から続く数々の歴史を大切にしていきたいです。



編集委員 西浦啓太、久保田菜々子(6年)  
指導教諭 佐々木啓介

編集委員 伊東璃久、小川さくら、佐藤征哉、南部佑杏(6年)  
指導教諭 大友倫章

